



令和6年度

参加支援事業及びアウトリーチ等を通じた
継続的支援事業

社会福祉法人沖縄市社会福祉協議会

参加支援事業

～具体的取り組み～

◎ 支援対象者の情報収集 および 地域支援の把握の方法について

① 支援対象者の情報収集

- ア. 支援が必要なケースを見つけに行くアウトリーチ相談
- イ. 地域においての支援者からの情報収集
- ウ. 支援会議への参加
- エ. **既存の社協**相談窓口（なんでも相談、CSW）の活用
- オ. 事業説明の実施
- カ. 社協事業との連携

⇒ **地域に出向いてのアウトリーチ相談、支援者との連携強化、相談窓口を活用し、アクセスしやすい環境づくり**



参加支援事業

～具体的取り組み～

◎ 支援対象者の情報収集 および 地域支援の把握の方法について

② 地域資源把握の方法

- ア. 地域社会資源となりえる地域の居場所やサークル等への聞き取り・訪問活動
- イ. 社会福祉法人、NPO、事業所に関する調査・情報収集
- ウ. 福祉分野外の連携協力団体に関する調査・情報収集
- エ. 地域支援または地域づくりに従事している支援者との連携
- オ. 社協事業との連携



⇒ **これまでの社協活動で構築されたネットワークを活かし、
地域の居場所、社会福祉法人、NPO、企業等へ積極的に出向く！**

参加支援事業

～具体的取り組み～



◎ 社会参加の機会の確保、社会参加の場の拡充、新規開拓の実施・方法

① 社会参加の機会の確保

ア. 既存の居場所への参加

イ. 地域の居場所やサークル、ボランティア活動やイベントへの参加

ウ. ボランティア活動への参加

エ. 有償ボランティア活動への参加

オ. SNS（LINE、X、Instagram、Facebook）の活用

⇒ 本人の希望・ニーズを中心とし、参加しやすい環境の調整

⇒ 社協ボランティアセンターと連携し、地域社会とのつながりづくり

参加支援事業

～具体的取り組み～

◎ 社会参加の機会の確保、社会参加の場の拡充、新規開拓の実施・方法

② 社会参加の場の拡充

ア. 居場所づくり

イ. 当事者同士のピア相談

ウ. XR（クロスリアリティ）を使った社会参加の調査・研究

エ. 趣味を起点にした社会参加の場づくり

（手芸、絵画、e-Sports、カードゲーム、音楽、等）

⇒ **本人が安心できる居場所づくり**

特に、興味・関心のある事柄や趣味・特技を活かした場づくり



参加支援事業

～具体的取り組み～

◎ 社会参加の機会の確保、社会参加の場の拡充、新規開拓の実施・方法

③ 新規開拓の実施内容、方法

ア. 福祉の壁を越えた住民、企業、公的機関などの
支援協力体制づくり

イ. 地域支援または地域づくりに従事している支援者との連携

⇒ **福祉の壁を越えた 住民・企業・公的機関等の支援協力体制**

⇒ **社協のネットワークを活かした支援や取り組みの実施**

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

～具体的取り組み～

① 支援対象者の把握方法について

地域、関係機関、企業、ボランティアさん等と構築してきた
様々なネットワークを活用し、支援対象者の把握に努めます。





アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

② 具体的な支援の実施内容について

本人との信頼関係を構築し、支援プランに基づいた伴走的支援に取り組みます。

③ 他機関との連携について

既存のネットワークを活用しつつ新規ネットワークの形成や社会資源開発を通じ、支援機関間の連携を強化します。



ありがとうございました

沖縄市社会福祉協議会

